



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 388号 2011.5.24 発行 社会政策研究所

震災犠牲者、障害者は2倍 死亡・不明2%、内閣府推計 朝日新聞 2011年5月23日

東日本大震災で被災した沿岸自治体に住む障害者のうち、2%超が亡くなったり行方不明になったりした可能性があることが、内閣府の聞き取り調査で明らかになった。住民全体に占める死者・行方不明者は1%弱。障害者は2倍に上り、被害が際だっている。

23日にあった障がい者制度改革推進会議で、内閣府が報告した。津波で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島3県の沿岸37市町村に住む障害者は約15万人。内閣府が障害者関係の27団体に確認したところ、約9千人のうち2.5%にあたる約230人が死亡、または行方不明になっていた。

震災受け、災害時の障害者施策を議論- 障がい者制度改革会議

キャリアブレイン 2011年5月23日

内閣府の「障がい者制度改革推進会議」（議長＝小川榮一・日本障害フォーラム代表）は5月23日、32回目の会合を開き、災害時における障害者への支援などについて議論した。推進会議発足時には予定されていなかったテーマだが、東日本大震災を受けて集中的に議論する機会を設けた。

会合の冒頭で同会議担当室の東俊裕室長が、東日本大震災で被災した沿岸部の在宅障害者について、障害関連の27団体から受けた報告を集計した結果を公表。あくまで目安の数値だと断った上で、岩手、宮城、福島の3県にある37市町村で被災した在宅の障害者約9000人を調査した結果、死亡者（107人）または行方不明者（127人）が約2%いた。健全者における割合は1%程度だという。さらに、支援が必要と思われる障害者が1800人以上いた。

また、この日の議論では、行政や障害関連団体間で、被災した障害者の情報を共有する上で、個人情報保護法が弊害になっているとする指摘が多く出た。大濱眞委員（社団法人全国脊髄損傷者連合会副理事長）が「ドクターカーで被災地に行っても、他団体から（障害者の）名簿をもらえない問題があった。この場で個人情報保護との関係を議論してもらいたい」と訴えた。また、尾上浩二委員（障害者インターナショナル日本会議事務局長）は、福島県南相馬市が情報公開法に基づいて障害者の名簿を開示し、各種団体と連携している例を挙げ、「（余力がなく）障害者の安否を確認できない行政が、障害者団体に協力を呼び掛けるという形が必要」と述べた。

東室長は「震災の影響が一定の落ち着きを見せたら再度議論したい」との考えを示した。

社保給付費の財源不足、15年度に14兆円- 財務省が試算

キャリアブレイン 2011年5月23日

財務省は5月23日に開かれた「社会保障改革に関する集中検討会議」に、社会保障制度の改革や消費税の引き上げを行わずに推移した場合、高齢者のための医療、介護、年金の3分野に必要な社会保障給付費の不足額が、2015年度には14兆円、20年度には18兆円に

上るとの試算結果を示した。

試算は、内閣府が1月に公表した「経済財政の中長期試算」を基に、15年度と20年度の社会保障給付費を機械的に示した値。与謝野馨社会保障・税一体改革担当相は、会議後の記者会見で、社会保障の持続性確保と、「中期財政フレーム」（昨年6月閣議決定）で目標に掲げる基礎的財政収支（プライマリーバランス）の20年度までの黒字化を堅持する考えを示した。

高齢者向け3分野に必要な国と地方による負担額は、現行のままだと15年度には27兆円（10年度は当初予算ベースで21.5兆円）に増える。これに対し、消費税による国と地方の税収は13兆円と見込まれ、14兆円程度の財源不足になる。20年度には3分野の給付費が32兆円に膨らむ一方、消費税収は15兆円にとどまる見通しで、財源の不足額は18兆円程度に増える。

■社会保障改革の原案、来週にも取りまとめ

与謝野担当相は会見で、来週中に2回の会合を開き、集中検討会議による社会保障改革の原案取りまとめを目指す方針を明らかにした。この日の会議で野田佳彦財務相は、政府の税制調査会を6月から開き、社会保障と税制抜本改革の議論をリンクさせる考えを示した。

逮捕監禁致死：16歳長女縛り死なす 体にあざ、体重27キロ 母を容疑逮捕——岡山 毎日新聞 2011年5月24日

知的障害で高等支援学校に通う長女（16）の手足を縛って死亡させたとして、岡山県警岡山西署は23日、岡山市北区北方2、無職、清原陽子容疑者（37）を逮捕監禁致死容疑で逮捕した。長女は発見時の体重が27キロしかなく、かなり痩せていた。清原容疑者は自分で110番通報した際、「しつけをするために縛って立たせた」と説明していたが、逮捕後は黙秘しているという。同署には2年前、市内にある児童相談所から「身体の虐待とネグレクト（養育放棄）の疑いがある」と情報提供があったという。

逮捕容疑は今年2月28日午後8時ごろ、自宅アパートで、岡山県立岡山瀬戸高等支援学校1年の麗（れい）さんを裸にし、手足をビニールひもで縛って約5時間にわたって風呂場に立たせ、放置して死亡させたとされる。

清原容疑者は翌日午前1時20分ごろ、麗さんが倒れているのに気付いて「娘が風呂場で死んでいる」と110番していた。麗さんは警察官が現場に駆け付けた時は息があったが同午前3時10分ごろ、病院で死亡が確認された。低体温症だった。

救急搬送の際、麗さんの体に複数のあざが見つかり、身長137センチ、体重27キロで小学校中学年程度。文部科学省の調査では、麗さんと同じ16歳女性の平均身長は157・7センチ、体重は52・7キロ。麗さんには知的障害があり、読み書きの能力は小学2年生程度だったという。【五十嵐朋子】

◇学校関係者ら、無念さにじませ

なぜ16歳の女子生徒を救えなかったのか——。清原陽子容疑者が23日、逮捕監禁致死容疑で逮捕された事件で、死亡した長女麗さんを知る関係者らは「学校を楽しみにしていたのに」と無念さをにじませた。

麗さんが通っていた岡山県立岡山瀬戸高等支援学校（岡山市東区）などによると、麗さんは中学時代からほおなどにあざがあり、08年度2回▽09年度1回▽10年度1回の計4回確認されていた。学校側は虐待を疑って本人に聞いたが、明確な答えはなかったという。【石井尚】

裁判：服役19回の知的障害者に懲役2年求刑／「必要なのは収監ではない」と弁護側

毎日新聞 2011年5月24日

福岡市内の民家で現金を盗んだとして窃盗罪などに問われた男（63）の初公判が23日、福岡地裁（高原正良裁判官）であった。これまで19回刑務所に入った男は耳が聞こえず話すこともできない。さらに知的障害もある被告が罪を重ねてしまうのは、わが国の矯正制度が障害を抱える被告に十分機能していないことをうかがわせる。弁護側は「被告の更生を考えるなら、必要なのは刑務所への収監ではない」と執行猶予付き判決を求めた。

男は昨年9月、福岡市内のアパートの1室に侵入し現金約3万円を盗んだなどとして起訴された。

検察、弁護双方の話を総合すると、男は窃盗などを繰り返したため72年以降、19回収監された。服役期間は22年以上に及び、成人になってからその半分以上を刑務所で過ごしたことになる。

男は月数万円の年金を受給しているが、管理は障害をもつ家族がしている。意思疎通の問題などから受け渡しがいまいちかずに、手持ちの現金がなくなると、窃盗を繰り返していたとみられている。

論告で、検察側は男が手袋をはめて室内を物色していたことを挙げ「慣れた犯行で、前科も極めて多い」などと指摘。懲役2年を求刑した。

これに対し、弁護側は、被告の健康状態が芳しくなく、刑務所に収容しても矯正は期待できないことなどを指摘。男が何らかの職に就くことを望んでいることも踏まえ、授産施設への入所などを念頭に、執行猶予付きの判決を求めた。

山西信裕弁護士は「被告はこのままでは刑務所と社会を往復し、人生を終えることになる。国の福祉政策に問題がないのか考える必要がある」と話しており、判決は6月13日に言い渡される。【岸達也、近松仁太郎】

維新市議団が「合区案」大阪都構想、2段階方式 産経関西 2011年5月24日

大阪府市の再編を目指している地域政党「大阪維新の会」（維新）の大阪市議団が、大阪都構想の“別案”として、市内24区を複数区ごとに合併させる合区案を検討していることが23日、分かった。一気に「大阪都」をつくらず、まずは合区して権限と財源を移譲する2段階方式。維新が主張してきた区長公選制は、合区後に住民投票で決める手法を想定している。

2段階方式は、維新の市議会議員が過半数に達していないため、他会派の賛同を得やすい譲歩案として浮上。第二会派の公明には区長公選制に慎重姿勢の一方、合区に前向きな議員もおり理解を得たい考えだ。

合併の組み合わせは未定だが、合区にあたっては「従来のコミュニティーが壊される」との批判に配慮し、旧区ごとに「地域自治区」を設置することを検討。さらに、地域自治区には自治会単位で代表を選出する地域協議会を置き、地域に密着した教育や福祉などの課題について住民意見を集約するという。維新幹部は「2段階方式は選択肢の一つ。ただ、どういう形になっても現在のコミュニティーを守るために地域自治区制度は導入したい」としている。

維新は24日、各派に対し都市構想について話し合う「新たな大都市制度を検討する協議会」（仮称）を提案する予定。合区案は協議会の場で維新案として提案する方針だという。

協議会の設置案によると、協議会は市議会の運営理事2人（維新、公明）と、各派3、4人の代表で構成。毎月少なくとも2回開催し、運営理事が交互に座長を務める。検討項目は大都市における統治機構や広域・基礎自治、税財源と財政運営、議会のあり方など5項目。維新は会議の公開を前提にしているが、他会派からは公開に慎重な声も出ている。

大阪特派員 鹿間孝一 おばちゃんのアメちゃん 産経新聞 2011年5月24日

これも都市伝説だろうか。東京で勤務していたころ、よくこんな質問を受けた。「大阪で

は一家に1台、必ずタコ焼き器があるって本当？」

確かめたことはないし、そんなデータも聞いたことがないが、わが家にはある。で、「ホンマですわ。それも穴の大きいのと小さいので2台。よう家族でタコ焼きパーティーしますねん」。その答えを期待していたのだろう。やっぱりと納得顔になる。

続いて、「お好み焼きでご飯食べるのは？」とくる。「そなん、普通やん」。これには怪訝（けげん）な顔をするので、大阪の食文化や粉もん事情を説明するのだが、炭水化物をおかずにする発想が不思議らしい。

「東京にもラーメンライスがあるやろ。うどんやソバとご飯もあり、やろう」「だって、あれはスープと思えば…」

ああ言えば、こう言うで、「お好み焼きとご飯はおかしい」と言い張って、引かない。

4月末、道頓堀に「コナモンミュージアム」がオープンした。日本コナモン協会監修で、粉もんの歴史と文化を学べるというから、今後は理論武装して東京人をギャフンと言わそう。が、今回の本題は粉もんではない。

こちらの方が都市伝説らしいかもしれない。

大阪のおばちゃんはいつもアメ玉を持っている。

大阪ではアメ玉を「アメちゃん」と呼ぶ。電車の中でゴホンとせきをする、隣に座った見知らぬおばちゃんが「アメちゃん、なめる？」と声をかけてくれたーなどという話をよく聞く。

これには裏付けのデータがある。大阪発行の夕刊に「新街場の大阪論」を連載している江弘毅さんが、大阪市阿倍野区にできた「アベノあめ村」を紹介していた。オープンに先立って、地元の中年以上の女性100人に聞き取り調査をしたそうだ。

セロハン紙に包んだキャンディーを「何と呼びますか」と質問すると、71%が「アメちゃん」と答えた。「今日はアメをいくつ持っているか」には、69%が「持っている」で、1人平均4・73個。「なぜアメを持っているか」は「人にあげるため」が36%だったという。

知らない人に「アメちゃん、どない」と差し出すのは、東京では胡散（うさん）臭い行為と見られるだろうが、大阪のおばちゃんは、それで人と親しくなるきっかけをつくる。「アメちゃん」は、コミュニケーション・ツールなのである。

大阪研究家の前垣和義さんが「大阪のおばちゃん学」で、このように考察している。

〈大阪には下町が多く、そこに長屋がある。長屋の路地をはさんでそれぞれの生活があり、そこに生活していたのが、大阪のおばちゃんである。つくったおかずを、「お隣さん、どないです」と分け合っていた。最近はそんな光景はあまり見られなくなったが、代わりに「アメちゃん」を携帯するようになり、見知らぬ人にも「おひとついかが」と譲るようになってきた、と考えられないか。〉

おせっかいのようで、親切心が根底にある。理より情、論より行動の大阪人の気質を、おばちゃんの「アメちゃん」が体現している。

以前、広島でタクシーに乗ると、女性運転手がいろんな種類のアメ玉を「お好きなものをどうぞ」と差し出した。もしや、と思って尋ねると、案の定、大阪で暮らしたことがあるという。目的地までの30分ほど、話が弾んだ。

やはり「アメちゃん」はコミュニケーション・ツールだった。（しかま こういち）

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町 5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行